



昨年のワークショップより

MIX JAM

WORKSHOP Project 2026 From KOREA

3日間の創造が生み出す
日韓4作品の発表公演!!

韓国で話題のワークショップ企画、
再び大阪開催!



WS見学

2026.8.6(木)▶8.8(土)

作品の創作過程を実際に見学いただけます!

上演

2026.8.9(日) 開場 15:30 / 開演 16:00

3日間で作り上げた日韓4チーム全作品の発表をご覧ください!

WS参加者

天野 ゆき 綾瀬 白 荒金 理香 和泉元守 伊藤 優杏 上島 よう子
うえだ ひろし 上原 里緒 江口 信 小野寺 元太 櫻村 迅風 篠田 宙依
鄭 ハナ 谷 侑子 田村 優宜 鄭 梨花 中島 早紀 中村 なる美
新生 尋子 林 真子 福永 樹 MINE 愛恵 水森 優貴 村崎 真彩
森口 晴美 八上 心寧 山崎 真実 山田 命 他 (五十音順)

会場:一心寺シアター倶楽



MIXJAM

WS Project 2026 From KOREA

韓国で大反響を呼んでいる俳優向けワークショップ企画が昨年に続き大阪で第2弾開催！
韓国から3名の大人気実力派演出家を招き、30名の日本の俳優が体当たりで挑みます。
そして今回は演出家だけでなく俳優も韓国から参戦！日韓の俳優・演出家が全力で駆け抜け、
濃密な3日間を通して創り上げる4つの作品を上演します。

◆演出家/作品紹介



オ・セヒョク

『地上最後のジョーク』

<あらすじ>

戦争捕虜として収容所に閉じ込められた10人。
彼らは2分ごとに一人ずつ連れ出され、処刑されていく。
次に自分の番が来る—その恐怖に怯える中、彼らはある決意をする。
「自分に与えられた最後の2分間で、残された仲間たちを全力で笑わせよう。」

<プロフィール>

劇作家・演出家・プロデューサー/制作会社Never Ending Play代表
2011年、ソウル新聞新春文芸戯曲部門で『ババたちのまごころ』、釜山日報新春文芸戯曲部門で『3万円のクリスマス』が同時受賞するなど韓国演劇界で受賞多数。中国や台湾、日本での公演にも脚色・演出で参加するなど海外との交流も活発に行っており、今年2026年の豊田演劇祭にも参加が決定している。



キム・ナムオン

『まばゆい光』

<あらすじ>

「まばゆい光」の前で祈る一人の科学者。彼の視点は、焼け焦げた妻との別れ、初めて恋に落ちた瞬間、夫の帰りを待つ妻の姿、そして二人の間に生まれた子どもの記憶へと移り変わっていく。原子爆弾の閃光と人生を照らす光が重なり合う中、誕生と死、祝福と災厄が交錯する夫婦の生涯を描く一幕劇。

<プロフィール>

演出家・プロデューサー/劇団NACTA代表/ソウル演劇協会理事
2022年、K-Theater Awardsにて「若手演劇人賞」、2024年、大韓民国新進演出家展にて「舞台芸術賞」「最優秀演技賞」を同時受賞。ソウル未来演劇祭やソウル演劇祭の芸術委員を務めるなどプロデューサーとしての活動も精力的に行っている。



チャン・ハンセ

『SFショートチャンネル』

<あらすじ>

韓国のSF短編3作品をオムニバス形式で再構成した意欲作。チャンネルを切り替えるように場面が移ろう中、人間を観察する3体のロボットの視点が交錯する。テクノロジーが加速度的に進化する時代において、人間とは何か、そして私たちが失いつつあるものは何かを鋭く描き出す。

<プロフィール>

演出家/劇団ベダ代表
明確なメッセージや結論よりも、観客が世界を考え直す契機となる「視線の転換」や「感覚の亀裂」を重視する演出を実践。2020年ソウル未来演劇祭優秀賞、2022年ベクサン芸術大賞若手演劇賞ノミネート、2024年東亜演劇賞作品賞ノミネートなどの韓国国内で数多くの評価を受ける。



橋本匡市

韓国からの参加者チームの演出を担当！

『9時18分、到着を待つ』

<あらすじ>

4月25日。今朝も電車は時間通りに目的地へ向かう。
晴れ上がる空。白い雲。強い陽射し。春らしい一日。
しかし、その日太陽は朝に沈み、奇跡の連続ともいえる「日常」が揺らいでいく。
隣り合う普通と異常の物語。

<プロフィール>

演出家・劇作家・宣伝美術家/万博設計代表/ウイングフィールド企画主任
近畿大学文学部芸術学科演劇・芸術専攻在学中に演劇活動を開始。2012年に「万博設計」を立ち上げ、「リボルバー」で令和元年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。令和2年度大阪文化祭賞奨励賞受賞。
言葉・身体・空間を拠点とする舞台演出と、「普通」と「異常」の距離の中で揺れる人間を描く演出手法を得意とする。

◆本番観劇チケット(全席自由)

【公演日程】

8/9(日) 開場 15:30 / 開演 16:00

一般:2,000円 / 高校生以下:無料

※高校生以下は当日受付にて年齢の確認できるものをご提示ください。

◆WS見学チケット

熱い創作現場を体感したいアナタにおすすめ!!

【WSスケジュール】

8/6(木) 14:00~21:00

7(金) 11:00~21:00

8(土) 11:00~21:00

一般・高校生以下:2,000円 / 各日

※途中入退可(各日最初から見学される方は開始時刻の10分前から入場予定)

※8/9の本番は別途「観劇チケット」が必要。

※応募者多数の場合は予告なく、受付を終了する可能性もございます。

6月28日(日)
10:00より受付開始



本番観劇チケット
予約フォーム



WS見学チケット
予約フォーム

※見学・観劇ともに当日精算・現金支払いのみ
※見学・観劇ともに未就学児は入場不可/小学生以下は保護者同伴

◆問い合わせ先

ゲキゲキ制作部:gekigeki.staff@gmail.com

ゲキゲキHP:https://www.geki-geki.com/

◆トークゲスト



平田オリザ

<プロフィール>

芸術文化観光専門職大学学長、青森県立美術館館長、劇作家・演出家・劇団青年団主宰。
1995年「東京ノート」で第39回岸田國士戯曲賞受賞。2006年モンパラン国際文化賞受賞。
2011年フランス文化通信賞より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。2019年「日本文学盛衰史」で第22回読者南北戯曲賞受賞。
著書「寂しさへの処方箋—芸術は社会的孤立を救うか—」「芸術立国論」(集英社新書)「わかりあえないことから」「演劇入門」「演技と演出」「下り坂をそろそろと下る」(以上、講談社現代新書)など

8月9日(日)4作品上演後の
アフタートークゲストとして
平田オリザ氏が登壇!!

◆会場 一心寺シアター倶楽

〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪2-6-13 B1F



アクセス

●Osaka Metro 谷町線 四天王寺前/夕陽丘駅

●Osaka Metro 堺筋線 恵美須町駅

●各線 天王寺駅

各駅からそれぞれ徒歩約15分

※駐車場はございません。

お車で越される際は近くのコインパーキングをご利用ください。

<スタッフ>

舞台監督:小西透太(ゲキゲキ)

音響:鈴木麻友

照明:東尾耕那

字幕:田中志保

戯曲翻訳:金哲義

通訳:沙奈奈・全咲愛

宣伝美術:中井重文

制作:中嶋沙弥奈(重司カンパニー)

プロデューサー:古川剛充(ゲキゲキ)

主催:ゲキゲキ/大阪府芸術文化振興事業

APTEL



協賛

